

動画解説まとめ 36 / 動画・音楽制作

AI動画の独自性と、 広告収入に頼りきらない運営の見直し

収益化停止を受けた視聴者の事例から、チャンネル全体の見直し、制作過程の説明、自分の体験を加える方法を整理。広告以外の収入につなぐテーマ選びもまとめます。

この動画の要点

あべさんが、AIを使うYouTubeチャンネルの収益化停止について、寄せられた相談と自分の経験をもとに解説した回です。恋愛心理学のチャンネルを運営するSさんの通知・再審査の経緯を紹介し、テンプレートへの依存、自分の視点や体験、チャンネル全体の独自性を見直す考え方を語っています。後半は、YouTubeを集客にも使い、広告収入だけに頼らない設計へ展開。個別事例、本人の原因分析、改善の提案を区別して読みます。

- 01 収益化停止の話を、AIを使ったかどうかだけの問題にまとめず、動画ごとの内容や価値を確認する。
- 02 一つの動画だけでなく、複数の動画を並べた時に何が異なり、何を伝えているかを見る。
- 03 制作方法を説明できることと、再審査が承認されることは別。通知と公式の案内に沿って対応する。
- 04 自分の体験や視点を素材にし、AIを文章整理や映像制作の補助として使う。
- 05 広告以外にどんな商品・サービスを紹介できるかを、発信テーマと合わせて考える。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【重要】AIを使ったYouTubeチャンネルの収益化停止の原因と対策について【2026年最新】

<https://www.youtube.com/watch?v=KcMPlaOiFmg>

動画で語られる現状と、原因の推測を分ける

動画の該当箇所 1:37 / タップして開く

あべさんは、視聴者などから突然収益化が停止されたという相談が増えたと話し、自分も複数のチャンネルを運営しているため他人事ではないと説明しています。動画中に挙がる時期や件数の印象は、本人に届いた相談と経験に基づくものです。YouTube全体の停止件数を調べた統計ではありません。

そのうえで、AIで作ること自体と、同じような内容を繰り返し大量に出すことを分けて考えるよう促しています。動画の中心は、使う道具だけを替える話ではなく、その動画ならではの説明や体験があるかを見直す話です。

収益化停止を受けた人の中で静止画中心の動画が目立ったという発言もありますが、これは本人の観察です。静止画なら必ず停止される、背景が動けば承認されるという一律の条件として扱うことはできません。実際にあべさん自身も、背景を動画に変えるだけで解決するとは限らないと話しています。

- ・ 相談や経験として語られたことと、審査の正式な基準を混同しない。
- ・ AIの使用、動画の見せ方、内容の独自性を分けて検討する。

チャンネル全体で、内容にどんな違いがあるかを見る

動画の該当箇所 6:27 / タップして開く

あべさんは、チャンネル全体を一つの作品として見た時に、毎回同じ構成やサムネイルで、文章と画像だけを替えた状態になっていないかを問題にしています。単体では丁寧に作っていても、複数の動画を並べた時に、伝える内容の違いや作り手の視点が見えにくい場合があるという指摘です。

具体例として、ネットニュースをそのまま読み上げるだけの動画や、素材を順番に並べただけの動画が挙げられています。素材の選び方や解説に、なぜ取り上げたのか、作り手がどう考えたのかがない状態を見直そうという話です。

ただし、同じデザインや形式を使うことそのものを、直ちに違反と読み替えるのは適切ではありません。編集上の補足として、公式の収益化ポリシーでも、共通の形式があるかだけでなく、各動画の中身に実質的な違いや価値があるかが説明されています。確認先は資料末尾に記載しています。

資料を活用する時は、サムネイルの色だけを変える作業へ狭めず、それぞれの動画で何を知れるのか、どんな体験や解説が加わっているかを見ます。表面上の違いと、視聴者が受け取る内容の違いを分けることがポイントです。

- ・ 複数の動画を並べ、題材・説明・体験・結論の違いを確認する。
- ・ 借りた素材や既存情報に、自分の説明がどれだけ加わっているかを見る。
- ・ 構成の統一と、中身をほぼ変えない反復を同じものとして扱わない。

Sさんの事例：通知から再審査までの経緯

動画の該当箇所 10:45 / タップして開く

紹介されるSさんは、恋愛心理学のチャンネルを運営し、登録者が約5,000人いたと説明されています。あべさんは台本を確認し、調べて丁寧になられていたと感じた一方、サムネイルや構成が似ていて、静止画のスライドショーが中心だったと振り返っています。

Sさんには、チャンネルがYouTubeパートナープログラムのポリシーに準拠していないとして、収益化を無効にする通知が届きました。動画では、その通知に記された再審査の方法を紹介し、制作過程を画面録画などで説明する動画を用意したと話しています。

申請を審査担当へ送ったという返信が来た段階では期待したものの、その後、停止が確定したという経緯です。受付の連絡と、審査が承認されたことは別です。また、制作に時間をかけたことを説明できても、それだけで結果が決まるわけではない事例として読めます。

当時の通知にある日数や提出動画の長さも紹介されていますが、実際の対応では自分のYouTube Studioに表示される期限と公式案内の確認が必要です。Sさんがその後復帰したかについて、この回では将来への期待が語られる段階であり、復帰済みの成功例としては扱いません。

- ・ 通知で、停止の理由と対応できる期限を確認する。
- ・ 再審査では、どのように企画し制作しているかを説明する場面がある。
- ・ 受付・審査中・承認という異なる状態を分けて読む。

自分の体験を、動画の内容に組み込む

動画の該当箇所 16:46 / タップして開く

見直しの中心として、AIがまとめた台本に自分の体験と視点を入れることが提案されています。本人が見聞きしたこと、実際に試したこと、そこからどう考えたかを文章に加え、他の動画と取り替えても同じ内容になる状態を減らす考え方です。

具体例は、家族との日常で感じたことを動画にする実践者のチャンネルです。動画では、風景の映像に本人の経験を表す文字を載せるシンプルな形式が紹介されます。豪華な編集より、その人の生活から出た見方が内容になっていることを評価しています。

ここから、日々起きたことをAIへ話し、文章や動画に整え、自分で撮影した写真・映像も組み合わせるという方向へ話が広がります。AIに日常を作らせるのではなく、自分が経験した材料を渡し、伝わる形へ整理する使い方です。

この方法を採れば必ず収益化できるという証明ではありません。あべさんの将来予測や、個別チャンネルに対する評価も含まれています。本資料では、審査をすり抜ける加工ではなく、視聴者にとって内容が具体的に役立つものになるよう見直す提案として整理しています。

- ・ 材料：実際の体験、試した結果、本人の考え、撮影した写真や動画。
- ・ AIの役割：材料を整理し、読みやすい台本や映像へまとめる。
- ・ 確認する点：視聴者に何が伝わり、その動画ならではの内容になっているか。

広告以外の収入へつながるテーマを考える

動画の該当箇所 19:38 / タップして開く

あべさんは、YouTubeの広告収入だけに頼らず、動画を商品やサービスを知ってもらう入口として使う考え方を示しています。本人の例として、有料記事、コミュニティ、自分の商品、アフィリエイト、企業案件などに触れ、広告以外の収入もあると説明しています。

比較例として、歴史的な生活をまとめるテーマと、節約術を扱うテーマを挙げています。節約術なら、関連グッズの紹介、自分の工夫をまとめた有料記事、関連サービスの紹介などへ展開できるのではないかという説明です。これは発信分野を選ぶ時の発想で、特定ジャンルには絶対に収入の手段がないと確定したものではありません。

重要なのは、再生回数の多さだけでテーマを選ぶ前に、どんな人が何に困っていて、動画を見た後に何を必要とするかも考えることです。動画の話を整理すると、視聴者が関心を持つ内容と、その先で提供できる商品・サービスをつなげるという見方になります。

最後には、これまで制作した経験や、視聴者の反応を見た経験は次にも生かせると話しています。運営を見直す際も、過去の作業を全て無駄だと扱わず、身に付いた制作力と、改善が必要な内容を分けて考える提案です。

- ・ 発信テーマと、視聴者が次に必要とするものを一緒に考える。
- ・ 商品紹介や有料記事などの候補と、実際に得られた収益を混同しない。
- ・ 学んだ制作手順や視聴者の反応を、運営の改善へ生かす。

実践の進め方

01 通知と公式案内を確認する

停止などの通知が来ている場合は、その理由と自分に表示された対応期限を確認します。動画に出た他人の通知だけで、自分の申請期限や手続きが同じだと決めないようにします。

動画 11:40

02 チャンネルを並べて見直す

動画ごとに、伝える内容・解説・体験・結論がどう違うかを確認します。素材の差し替えだけになっていないか、自分ならではの説明があるかを見ます。

動画 6:27

03 自分が経験した材料を加える

実際に試したことや日常で起きたことを整理し、AIへ文章化などを依頼します。必要に応じて自分で撮った写真・映像も使い、体験を架空の実績へ置き換えないようにします。

動画 18:57

04 広告以外の提供先を考える

節約術の例のように、発信する内容と関連する商品・サービス・有料記事などの候補を整理します。紹介できるものと、そのために用意する内容を分けて考えます。

動画 21:03

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例。動画内の逐語プロンプトではありません】この資料を参考に、私の動画の内容を見直す相談に乗ってください。まず、扱うテーマ、最近の動画の要約、実際に経験したこと、素材の出典、視聴者に届けたい価値を質問してください。各動画に共通する形式と、内容として異なる部分を分け、自分の体験や解説を増やせる箇所を整理してください。審査回避の加工や復帰の保証はせず、通知への対応は私の画面と公式案内の確認事項に分けてください。架空の体験や実績を作らず、広告以外の収入案は視聴者の困りごとに関連する候補として提案してください。

資料について

- ・動画内の相談事例、原因に関する本人の見立て、改善の提案を整理しています。個別チャンネルの審査結果を予測する資料ではありません。
- ・再審査や再申請の期限・提出要件は、自分のYouTube Studioと公式案内で確認してください。動画時点の通知を現在の共通条件へ置き換えていません。
- ・編集部の補足確認先（2026-10-12）：YouTubeのチャンネル収益化ポリシー <https://support.google.com/youtube/answer/1311392?hl=ja>
- ・再審査の公式案内：<https://support.google.com/youtube/answer/9564590?hl=ja>
- ・背景の動きや顔出しの有無だけで収益化が決まるとは扱っていません。また、停止中の制限を別チャンネルで回避するための案内ではありません。